

# 広告

# 2016

## あけましておめでとぅございませす

市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます

昨年を振り返りますと、年明け早々こ

れまで厚田区において議論を重ねてきた厚田複合施設建設構想が、国土交通省により重点「道の駅」として選定された明るい話題で始まりました。6月には、実行委員会主催による「石狩手話フェスタ2015」が開催され、さまざまな場面で手話を目にする機会が増え、言語としての広がりを感じております。

本年は、平成8年9月1日に市制を施行してから20年目を迎える年であります。

この間、旧厚田村・旧浜益村との合併や、地方自治の憲法ともいわれる「自治基本条例」の制定、さらにはエネルギー関連プロジェクトなど歴史的な選択と転換を経て、市民参加・市民協働を礎とした歩みを着実に進めてまいりました。

20周年という節目を機に、これまでの経験や市民力、地域資源を活かした持続可能で「心の豊かさ」を実感できるまちのフレームをより確かなものにしていきたい

と思えます。

市では、これまでも子育て支援や教育環境の整備に鋭意取り組んでまいりましたが、子育てや教育に関わる今日的な課題も踏まえ、すべての子どもたちが心身ともに健やかに成長し等しく学ぶことのできる環境整備に力点を置くなど、子ども施策のさらなる強化を図るべく多角的な視点を持つて取り組んでまいります。

一方、急激な高齢化に伴い、社会保障費が経済の復調を上回る勢いで膨らみ続けています。そのため市のデータヘルス計画を活用して、若年層からの健康意識の向上を図り、検診などの積極的な受診を促すなど病気の予防や重症化防止に結びつく効果的かつ効果的な保健事業を推進してまいります。

市の重要な産業基盤である石狩湾新港は、ここ数年最大取扱貨物量を更新し続けており、超電導直流送電プロジェクトのような先駆的な事業のほか、LNG

火力発電や洋上風力発電など多様なエネルギー供給基地としての基盤整備や、海陸一貫物流拠点の港湾地域戦略を発展軸に、さらなる付加価値を創出してまいります。

私たちは、明るいまちの未来を力強く引き寄せるためにも、市民一人ひとりの力・市民同士のつながる地域の力・地域同士のつながるまちの力を大切にして、皆さと共に魅力ある石狩のまちづくりを目指し市政運営に取り組んでまいりますと存じます。

結びに、新春の門出にあたり、市民の皆さまのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成28年 新春

石狩市長 田岡克彦

